

独立行政法人日本学術振興会契約監視委員会（第7回） 議事概要

1. 日 時：平成24年3月9日（金）16：00～17：20

2. 場 所：独立行政法人日本学術振興会 一番町事務室8階「特別会議室」

3. 出席者：會田委員長、京藤委員、小島委員、清水委員、溝口委員

4. 事務局：角田総務部長、河津経理課長 他

5. 議 事：1) 契約監視委員会（第6回）議事概要（案）について

2) 平成23年度契約点検について

3) 監事ヒアリングについて

4) その他

6. 主な議事概要

(1) 契約監視委員会（第6回）議事概要（案）の説明

事務局より資料1について説明を行い、委員の了承を得た。

(2) 平成23年度契約点検について

事務局より資料2、3-1及3-2に基づき説明を行い、平成23年度の「随意契約等見直し計画と実績（見込）」及び「一者応札・応募の状況」について委員から意見を頂いた。主な意見は次のとおり。

- ① 随意契約の約半数を占めるシステム改修関係については、情報化統括責任者（CIO）補佐官を中心に検討を行っているところであり、現在の契約金額については妥当であるとの評価を得ている。
- ② 全体の設計といった部分に専門のコンサルタントを雇い時間をかけていくことで質が良くて安価な契約ができるケースも多いので、より積極的にコンサルタントを利用していくという方法もあるのではないか。

(3) 監事ヒアリングについて

委員長より資料4及び5に基づき、派遣職員及びシンポジウム等会場について随意契約から一般競争に移行したことによる問題点等について現場からヒアリングを行った結果について報告があった。主な意見は次のとおり。

- ① 派遣職員としての契約より請負契約の方が適切なものがあるのではないか。
- ② 現場に一から仕様書を作成させるのではなく、仕様書の雛型を配布したことは評価できるので、今後の状況を確認したい。
- ③ まず業務の見直しを進めた上で契約形態の見直しを行うのが良いのではないか。

以上